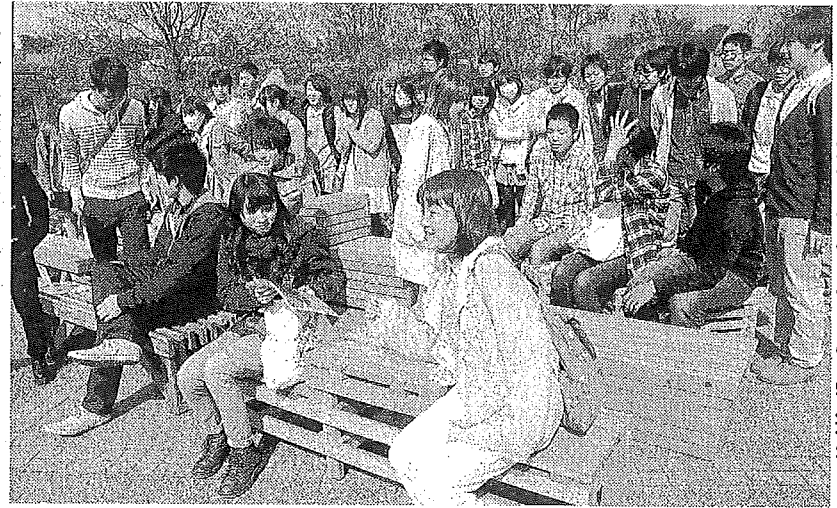


米子高専の学生

ゆったり観賞して 花回廊に手作りベンチ寄贈

自分たちが作ったベンチに座る学生たち



米子高専(米子市彦名町)の学生が19日、製作したベンチをとり花回廊(南部町)に寄贈した。園内に設置され、来園者が座りながらゆったりと花々を観賞したり、休憩するのに利用される。木の育成と活用に精通した人材を育てよう

と、鳥取県木造住宅推進協議会西部支部(高野誠司支部長)が、鳥取県の森林環境保全税を活用した「とっとり

県民参加の森づくり推進事業」の一環で、建築学科の3年生を対象に林業体験と間伐材を使った物作りの機会を提供。昨年度3年生だ

利用するかを考えて製作されている。

建築学科4年の藤崎美里さん(18)と景山亮

さん(18)は「この1年間で貴重な体験ができ、関わっていただいた方々に感謝してい

る。一つ一つ異なるベンチの個性を楽しんでほしい」と話していた。

(井川広志)